

Dell U3818DW モニター ユーザーズ ガイド

モデル : U3818DW
規定モデル : U3818DWb



注、注意および警告



注：「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注意：「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。



警告：「警告」は物件損害、人的被害または死亡の危険性を表します。

著作権 © 2017-2019 Dell Inc. 複製を禁ず。

本製品は、米国および国際著作権および知的所有権により保護されています。Dell™ および Dell ロゴは米国およびその他の司法管轄区における Dell Inc. の商標です。本書に記載されるその他の記号および商品名は、各社の商標です。

目次

製品の特徴	5
パッケージの内容	5
製品の特長	7
部品とコントロールの確認	8
モニター仕様	12
プラグアンドプレイ機能	19
ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース	20
LCD モニター品質とピクセルポリシー	22
保守のガイドライン	22
モニターのセットアップ	23
スタンドを取り付ける	23
モニターを接続する	26
ケーブルを調整する	30
モニタースタンドを取り外す	30
壁取り付け (別売り)	31
モニターの操作	32
モニターを電源オンにする	32
前面パネルのコントロールを使う	32

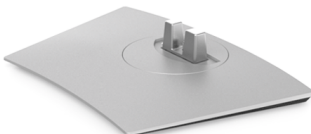
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	34
最大解像度を設定する	51
KVM スイッチの設定	52
傾け、旋回させ、垂直に伸ばす	55
問題を解決する	56
自己テスト	56
内蔵診断	57
USB Type-C 充電を常にオン.....	57
よくある問題	58
製品特有の問題	60
ユニバーサル シリアルバス (USB) 特有の問題	60
スピーカー特有の問題	61
付録.....	62
米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその 他規制に関する情報	62
Dell へのお問い合わせ	62

製品の特徴

パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは [Dell へのお問い合わせ](#)。

- 注：一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。
- 注：その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。

	モニター
	スタンドライザ
	スタンドベース

	<p>電源ケーブル（国により異なります）</p>
	<p>HDMI ケーブル</p>
	<p>DP ケーブル（DP 対 DP）</p>
	<p>USB 3.0 アップストリーム ケーブル（モニターの USB ポートを有効にしま す）</p>
	<p>USB Type-C ケーブル</p>
	<ul style="list-style-type: none"> • クイック セットアップ ガイド • 出荷時校正レポート • 安全、環境および規制 情報

製品の特長

Dell U3818DW モニターにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスター (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています：

- 95.29 cm (37.5 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。3840 x 1600 (21:9) 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い角度を表示することにより、座った位置からでも、立った位置からでも見ることが出来ます。
- 平均デルタ E をもつ 99% sRGB の色域 ≤ 2。
- HDMI、USB Type-C、DisplayPort ソースに対応します。
- 互換性のあるノートブックに電源供給しながら、動画およびデータ信号を受信するシングル USB Type-C です。
- チルト、スイベル、垂直引き伸ばし調整機能。
- マルチモニター使用時に美しさを損なわないように、溝を非常に薄くすることで溝のギャップをできるだけ小さくしています。
- 取り外し可能なスタンドと VESA™ (ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm 取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグ アンド プレイ機能。
- 内蔵された KVM スイッチは、モニターに接続されたキーボードとマウスを 1 組のセットとして最大で 2 台のコンピューターを制御することができます。
- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- 電源ボタンとメニュー ボタンをロックします。
- セキュリティ ロック スロット。
- スタンドロック。
- スリープモード時には 0.5 W スタンバイ電源になります。
- ちらつき防止スクリーンで目の疲れを軽減します。

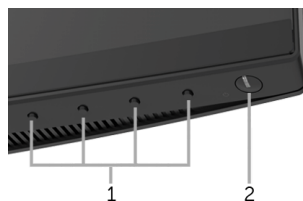


注：モニターから放出されるブルーライトを長時間見続けると、眼精疲労を含め、目に影響を与えます。モニターが放出するブルーライトの量を低減するために、ComfortView 機能が搭載されています。

- ピクチャーバイピクチャ (PBP) およびピクチャインピクチャ (PIP) 選択モード対応。

部品とコントロールの確認

正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン（詳細は、 モニターの操作 を参照してください）
2	電源オン/オフ ボタン（LED インジケーター付き）

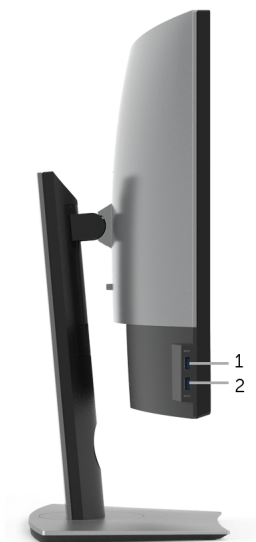
背面図



背面図（モニターのスタンド付き）

ラベル	説明	使用
1	VESA 取り付け穴（100 mm x 100 mm - 接続された VESA カバーの背面）	VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニター（100 mm x 100 mm）。
2	規制ラベル	規制承認を表示します。
3	スタンドリリースボタン	スタンドをモニターから外します。
4	バーコード シリアル番号ラベル	技術サポートを受けるには、Dell にお問い合わせください。
5	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類を整理するために使います。

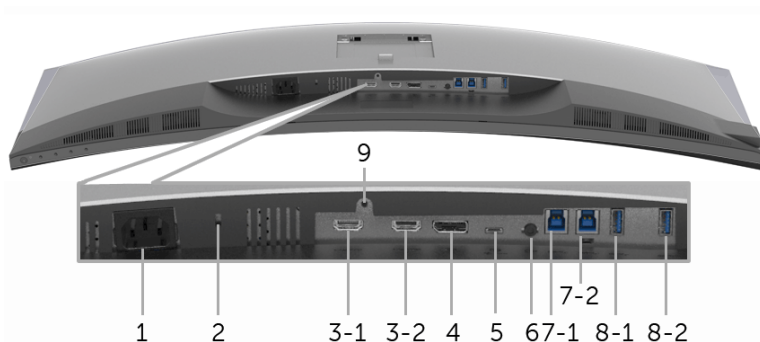
側面図



ラベル	説明	使用
1	USB ダウンストリームポート	USB デバイスを接続してください。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリーム ケーブルに接続した後にのみ利用できます。*
2	充電機能付き USB ダウンストリームポート	デバイスを充電します。

* 信号障害を防止するために、ワイヤレス USB デバイスを USB ダウンストリームポートに接続しているときには、他の USB デバイスを隣のポートに繋ぐことはお勧めしません。

底面図



モニタースタンドなし底面図

ラベル	説明	使用
1	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続してください。
2	セキュリティ ロックスロット	セキュリティ ロックでモニターを固定します（セキュリティ ロックは含まれません）。
3 (1、2)	HDMI ポートコネクタ	コンピューターに HDMI ケーブルを接続してください。
4	DisplayPort インコネクタ	コンピューターに DP ケーブルを接続してください。
5	USB Type-C ポート	モニターに付属されている USB Type-C ケーブルをコンピューターまたはモバイルデバイスに接続します。このポートは、USB パワーデリバリー、データと DP ビデオ信号に対応します。
6	オーディオ出力	スピーカーに接続してください。*
7 (1、2)	USB アップストリームポート	モニターに付いてきた USB ケーブルをモニターとコンピューターに接続してください。接続すると、モニターにある USB 接続を使用できます。
8-1	USB ダウンストリームポート	USB デバイスを接続してください。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリームコネクタに接続した後のみ利用できます。**
8-2	充電機能付き USB ダウンストリームポート	デバイスを充電します。
9	スタンドのロック機能	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニターにロックします（ネジは含まれていません）。


* オーディオ出力コネクタでは、ヘッドフォンを使用することはできません。

** 信号障害を防止するために、ワイヤレス USB デバイスを USB ダウンストリーム ポートに接続しているときには、他の USB デバイスを隣のポートに繋ぐことはお勧めしません。

モニター仕様

フラットパネル仕様

モデル	U3818DW
スクリーンタイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルテクノロジー	In Plane Switching タイプ
アスペクト比	21:9
表示可能画像	
対角	952.9 mm (37.5 インチ)
水平、アクティブエリア	879.67 mm (34.63 インチ)
垂直、アクティブエリア	366.53 mm (14.43 インチ)
エリア	322425.44 mm ² (499.76 インチ ²)
ピクセルピッチ	0.229 mm x 0.229 mm
ピクセル/インチ	111
表示角度	178° (垂直) 標準 178° (水平) 標準
ルミネンス出力	300 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準)
面板コーティング	ハードコーティング 3H の抗グレア
バックライト	LED エッジライト方式
応答時間	通常モードでは 8 ms 高速モードでは 5 ms
色の深さ	10.7 億色
色域*	99% sRGB、99% Rec 709、78.1% DCI-P3
キャリブレーション精度	Delta E ≤ 2 (平均)
内蔵デバイス	<ul style="list-style-type: none">• 2 x USB 3.0 アップストリームポート• 4 x USB 3.0 ダウンストリームポート• 1 x USB Type-C ポート

接続性	<ul style="list-style-type: none"> • 2 x HDMI 2.0 (HDCP 2.2) • 1 x DP 1.2 (HDCP 2.2) • 2 x USB 3.0 アップストリームポート • 2 x USB 3.0 ダウンストリームポート (側面) • 2 x USB 3.0 ダウンストリームポート (底面) • 1 x USB Type-C (DP1.2、パワーデリバリー、USB2.0の代替モード)
境界幅 (モニターの端からアクティブエリアまで)	10.5 mm (上) 10.0 mm (左 / 右) 19.8 mm (下)
調整	
高さ調整スタンド	0 から 115 mm
傾き	-5° ~ 21°
旋回	-30° ~ 30°
ピボット	該当なし
 注: 本製品が故障するため、本製品を縦方向にマウントまたは使用したり、横方向に回転 (180°) させたりしないでください。	
Dell Display Manager (DDM) 対応	Easy Arrange (簡単配列)、Input Manager (入力マネージャ)、Auto Source (自動信号) など。
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> • セキュリティ ロックスロット (ケーブルロックは別売りです) • 盗難防止スタンドロック用スロット (パネルに繋ぐ)

* パネルネイティブ専用、カスタムモードのプリセットにて設定。

解像度仕様

モデル	U3818DW
水平走査幅 (HDMI & DP & USB Type-C 代替モード)	25 kHz ~ 115 kHz (自動)
垂直走査幅 (HDMI & DP & USB Type-C 代替モード)	24 Hz ~ 85 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	60 Hz で 3840 x 1600

ビデオのサポートモード

モデル	U3818DW
ビデオ表示機能 (HDMI & DP & USB Type-C 代替モード)	480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p、QHD

事前設定ディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA、640 x 400	31.5	70.1	25.2	-/+
VESA、640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108	+/+
VESA、1280 x 800 - R	49.3	59.9	71	+/-
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135	+/+
VESA、1600 x 1200	75.0	60.0	162	+/+
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA、2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-
VESA、3840 x 1600*	98.8	60.0	395	+/-

* グラフィックカードが HDMI 2.0 に対応していなければなりません。

電氣的仕様

モデル	U3818DW
ビデオ入力信号	HDMI 2.0*/DP 1.2、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 ohm 入カインピーダンス

AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 VAC から 240 VAC / 50 Hz または 60 Hz ± 3 Hz / 3 A (標準)
インラッシュ電流	<ul style="list-style-type: none"> • 120 V : 40 A (最大) (0°C で) (コールドスタート) • 220 V : 80 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)

* HDMI Ethernet Channel (HEC)、Audio Return Channel (ARC)、3D フォーマットの規格および解像度、4K デジタルシネマ解像度の規格など、HDMI 2.0 オプション仕様には対応していません。

スピーカーの仕様

モデル	U3818DW
スピーカー	2 x 9.0 W
周波数応答	100 Hz - 20 kHz
インピーダンス	8 オーム

物理特性

モデル	U3818DW
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル : HDMI、19 ピン • デジタル : DisplayPort、20 ピン • USB : USB、4 ピン • USB : Type-C、24 ピン
寸法 (スタンド付き)	
最高 (引き伸ばし時)	547.0 mm (21.54 インチ)
最高 (圧縮)	432.0 mm (17.00 インチ)
幅	894.0 mm (35.2 インチ)
奥行き	226.4 mm (8.91 インチ)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	396.8 mm (15.62 インチ)
幅	894.0 mm (35.2 インチ)
奥行き	55.5 mm (2.19 インチ)
スタンド寸法	
最高 (引き伸ばし時)	417.6 mm (16.44 インチ)
最高 (圧縮)	410.2 mm (16.15 インチ)

幅	342.2 mm (13.47 インチ)
奥行き	226.4 mm (8.91 インチ)
重量	
重さ (パッケージ含む)	19.7 kg (43.4 lb)
重さ (スタンドアセンブリとケーブルを含む)	12.1 kg (26.7 lb)
重さ (スタンドアセンブリなし) (壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし)	9.1 kg (19.9 lb)
スタンドアセンブリの重さ	2.5 kg (5.5 lb)
フロントフレーム (ツヤあり)	黒フレーム - 30 グロス単位 (最大)

環境特性

モデル	U3818DW
準拠規格	
<ul style="list-style-type: none"> • RoHS 準拠 • 外付けケーブルを除き BFR/PVC が含まれていません (ハロゲンを含まない)。 • NFPA 99 リーク電流基準に一致。 • パネルのみ無ヒ素ガラスかつ無水銀です。 	
温度	
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
非運転時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
湿度	
運転時	10% ~ 80% (結露しないこと)
非運転時	5% ~ 90% (結露しないこと)
高度	
運転時	5,000 m (16,404 ft) (最大)
非運転時	12,192 m (40,000 ft) (最大)
熱発散	<ul style="list-style-type: none"> • 853.04 BTU/時 (最大) • 191.08 BTU/時 (標準)

電源管理モード

VESA DPM™ コンプライアンス ディスプレイ カードをお持ちの方、または PC にソフトウェアがインストールされている場合は、モニターを使用していないときには自動的に電源消費量を低減させます。これを、「省電力モード」*と呼びます。コンピューターがキーボード、マウス、またはその他の入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は、この自動省電力機能の電源消費と信号を表したものです。

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	250 W (最大) ** 56 W (標準)
無効モード	無効	無効	空白	白色 (点滅)	0.5 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.3 W 以下

OSD は、通常の動作モードでのみ機能します。無効モードでどれかのボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



コンピューターがアクティブになり、モニターで OSD にアクセスできるようになります。

注：接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

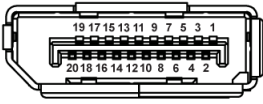
* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

** 最大消費電力は最大輝度および USB と積極的な測定され。

本書は参考用に提供するものであり、試験室での性能を基に作成されています。お客様の製品は、お使いになるソフトウェア、コンポーネント、周辺機器により異なり、本書の情報と必ずしも一致しない場合があります。したがって、この情報を基に裕度を決定することはお止めください。精度や完成度について一切保障いたしません。

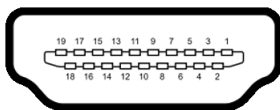
ピン割当

DisplayPort コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 20ピン側
1	ML0(p)
2	GND
3	ML0(n)
4	ML1(p)
5	GND
6	ML1(n)
7	ML2(p)
8	GND
9	ML2(n)
10	ML3(p)
11	GND
12	ML3(n)
13	GND
14	GND
15	AUX(p)
16	GND
17	AUX(n)
18	GND
19	Re-PWR
20	+3.3 V DP_PWR

HDMI コネクタ




ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	TMDS データ 1 シールド
6	TMDS データ 1-
7	TMDS データ 0+
8	TMDS データ 0 シールド
9	TMDS データ 0-
10	TMDS クロック +
11	TMDS クロックシールド
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスでは N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC 接地
18	+5V 電源
19	ホットプラグ検出

プラグアンドプレイ機能


プラグアンドプレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ データ チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース

本項では、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

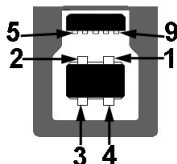
 **注：**このモニターは超高速 USB 3.0 互換です。

転送速度	データ率	電源消費 *
超高速	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
全速度	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

* BC1.2 準拠デバイスまたは標準の USB デバイスの USB ダウンストリームポート ( のバッテリーアイコンの付いたポート) で最大 2A。

USB 3.0 Type-C	説明
ビデオ	DP1.2
データ	USB 2.0
パワーデリバリー (PD)	最大 100 W および 95 W (標準)

USB アップストリームコネクタ



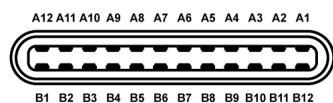
ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

USB ダウンストリームコネクタ




ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSRX-
6	SSRX+
7	GND
8	SSTX-
9	SSTX+

USB Type-C コネクタ



ピン数	信号名	ピン数	信号名
A1	GND	B1	GND
A2	TX1+	B2	TX2+
A3	TX1-	B3	TX2-
A4	VBUS	B4	VBUS
A5	CC	B5	VCONN
A6	D+	B6	
A7	D-	B7	
A8	SBU1	B8	SBU2
A9	VBUS	B9	VBUS
A10	RX2-	B10	RX1-
A11	RX2+	B11	RX1+
A12	GND	B12	GND

USB ポート

- 1 x USB Type-C - 底面
- 2 x USB 3.0 アップストリーム - 底面
- 2 x USB 3.0 ダウンストリーム - 底面
- 2 x USB 3.0 ダウンストリーム - 側面
- 充電ポート -  バッテリーアイコンがついたポート。BC1.2 互換機器使用時に高速充電に対応。



注：USB 3.0 機能には USB 3.0 対応のコンピューターが必要です。



注：モニターの USB インターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モードに入っているときのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態で固定されることはよくあります。見つけにくく、表示品質および使い勝手に影響しません。Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート <http://www.dell.com/support/monitors> を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを洗淨する



注意：モニターの洗淨前には、**安全指示**を読み、その指示に従ってください。



警告：モニターの洗淨前には、**電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。**

最高の性能を引き出すために、モニターを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください：

- 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- むるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取り扱いには注意してください。
- モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

モニターのセットアップ

スタンドを取り付ける



注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。



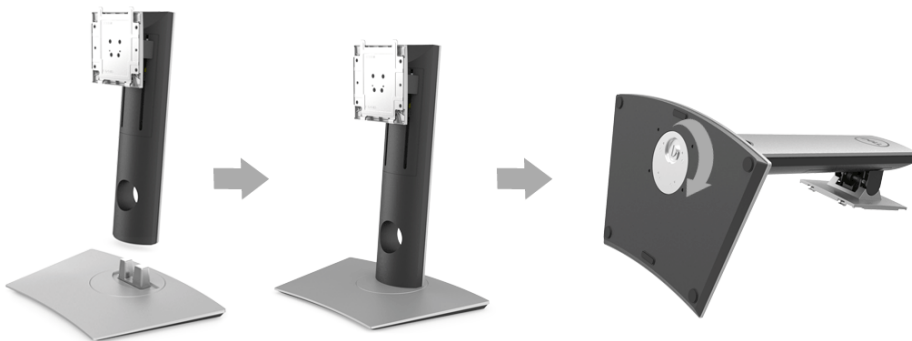
注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



注意：スタンドを付けるまでは、パッケージからモニターを取り出さないでください。

モニタースタンドを取り付けるには：

- 1 箱のふた部分に記載された指示に従って、スタンドを保護しているクッション材を取り外してください。
- 2 スタンドベースの突起部分がスタンドのスロットにしっかり収まるように挿入します。
- 3 ネジ用ハンドルを持ち上げて、右に回します。
- 4 ネジをしっかりと締めたら、ネジ用ハンドルを元の位置に戻してください。

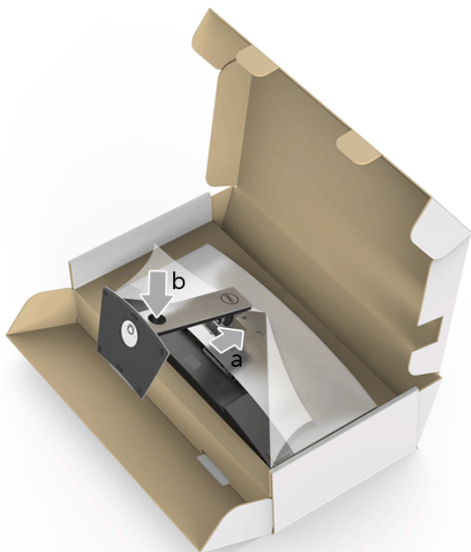


5 図に示すとおり、カバーを開けるとスタンドアセンブリの VESA 部分が現れます。




6 スタンドアセンブリをモニターに取り付けます。

- a モニター背面の溝をスタンド上部の 2 つのタブに合わせます。
- b スタンドを押し、はめ込んでください。

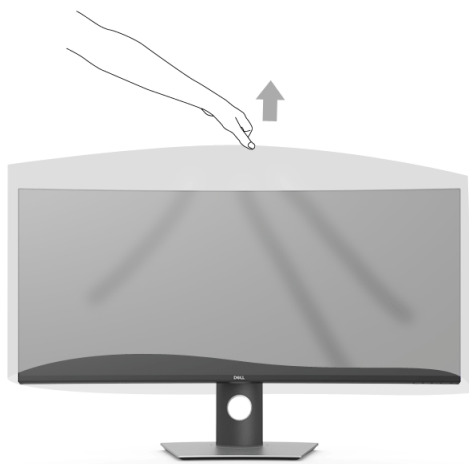


7 モニターをまっすぐに設置します。



 注：モニターが滑ったり、落ちたりしないように、そっと持ち上げてください。



8 モニターからカバーを外します。



モニターを接続する


-  **警告：** このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。
-  **注：** すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。








モニターをコンピューターに接続する：


- 1 コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
- 2 モニターの HDMI/DP/USB Type-C ケーブルをコンピューターまたは USB Type-C デバイスに接続します。

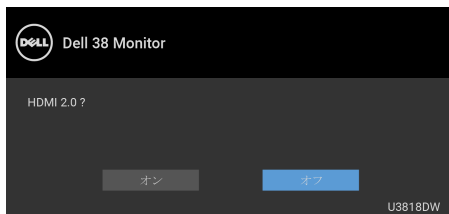
HDMI ケーブルを接続します



-  **注：** 工場出荷時の U3818DW は、HDMI 2.0 に設定されています。HDMI ケーブルを接続してもモニターに何も表示されない場合は、次の手順にしたがって設定を HDMI 2.0 から HDMI 1.4 に変更してください：

-  ボタンの横にある 2 つ目のボタンを押して、OSD メニューを有効にします。
-  および  ボタンを使って入力信号を選択し、 ボタンを使ってサブメニューに入ります。
-  および  ボタンを使って HDMI を選択します。
-  ボタンを約 10 秒間押し続けると、HDMI 構成メッセージが表示されます。


-  ボタンを使って、**オフ**を選択し、設定を変更します。











必要であれば、上記の手順を繰り返して HDMI フォーマットの設定を変更してください。

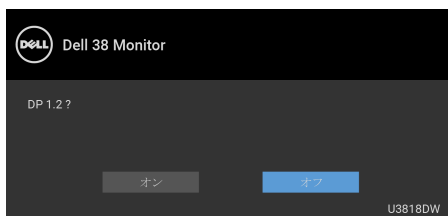
DisplayPort (DP 対 DP) ケーブルを接続します



 **注：**工場出荷時の U3818DW は、DP1.2 に設定されています。DP ケーブルを接続してもモニターに何も表示されない場合は、次の手順にしたがって設定を DP1.2 から DP1.1 に変更してください：

-  ボタンの横にある 2 つ目のボタンを押して、OSD メニューを有効にします。
-  および  ボタンを使って**入力信号**を選択し、 ボタンを使ってサブメニューに入ります。
-  および  ボタンを使って **DP** を選択します。
-  ボタンを約 10 秒間押し続けると、DP 構成メッセージが表示されます。

-  ボタンを使って、**オフ**を選択し、設定を変更します。



必要であれば、上記の手順を繰り返して DP フォーマットの設定を変更してください。

USB Type-C ケーブルの接続



- **注**：モニター付属の USB Type-C ケーブル以外はご使用にならないでください。
 - このポートは DisplayPort 代替モード（DP 1.2 規格専用）に対応します。
 - USB Type-C パワーデリバリー準拠ポート（PD バージョン 2.0）は、最大 100 W の電源を供給します。
 - 95 W 以上を必要とするノートブックで、バッテリーの残量がなくなっている場合は、ノートブックが起動しない場合があります。または、U3818DW の USB PD ポートで充電されます。

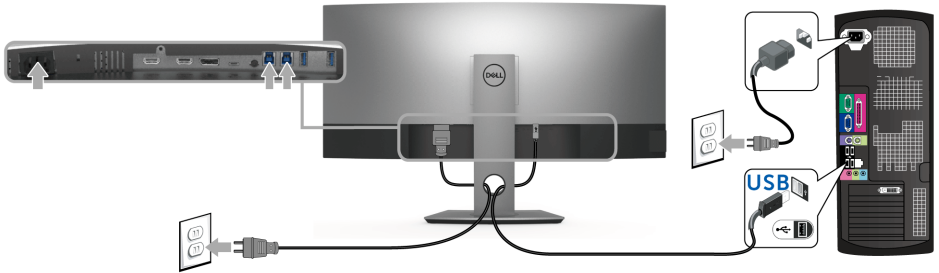
△ **注意**：画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピューターの外観は変わることがあります。

USB 3.0 ケーブルを接続する

- **注**：データの破損や損失を防止するために、USB アップストリームポートを変更する前に、モニターの USB アップストリームポートに接続されているコンピューターが USB ストレージデバイスを使用していないことを確認してください。

HDMI/DP/USB Type-C ケーブルを接続したら、以下の手順に従って USB 3.0 ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了してください。

- 1 a. 1 台のコンピューターを接続する場合：アップストリーム USB 3.0 ポートをコンピューターの USB 3.0 ポートに接続します（付属ケーブルを使用）。
b. 2 台のコンピューターを接続する場合*：アップストリーム USB 3.0 ポートと 2 台のコンピューターの USB 3.0 ポートを繋ぎます。次に、OSD メニューで 2 つの USB アップストリーム ソースと入力ソースを選択します。[USB 選択切り換え](#)を参照してください。
- 2 USB 3.0 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB 3.0 ポートに接続します。
- 3 コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



a. 1 台のコンピューターを接続する場合



b. 2 台のコンピューターを接続する場合

* 2 台のコンピューターをモニターに繋ぐ場合、OSD メニューから [USB 選択](#)設定を変更することで、モニターについているキーボードとマウス用の USB ダウンストリーム ポートに 2 台のコンピューターとは別の入力信号を割り当てることができます。（詳細は、[USB 選択](#)および [KVM スイッチの設定](#)を参照してください）。

- 4 モニターおよびコンピューターの電源をオンにします。
モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、[ユニバーサル シリアルバス \(USB\) 特有の問題](#)を参照してください。
- 5 モニタースタンドのケーブルホルダーを使ってケーブルを整理してください。

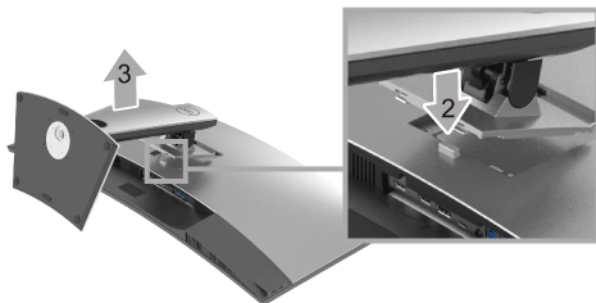
ケーブルを調整する



モニターおよびコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

モニタースタンドを取り外す

- 注：スタンドを取り外す間は、曲面になった LCD 画面に傷が付かないように、モニターは必ず柔らかく、きれいな発砲材の上に置くようにしてください。画面に硬い物が触れると故障の原因となります。
- 注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。



スタンドを取り外すには：

- 1 柔らかい布またはクッションの上にモニターを置きます。
- 2 スタンドリリース ボタンを押し下げます。
- 3 スタンドを持ち上げ、モニターから離します。


壁取り付け（別売り）



（ネジの寸法：M4 x 10 mm）。

VESA 互換壁取り付けキットに付いている使用説明書を参照してください。

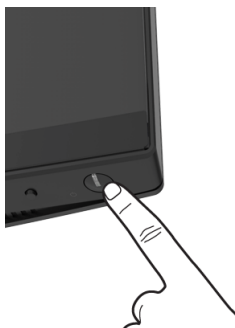
- 1 モニターのパネルを、安定した平らなテーブルの軟らかい布またはクッションの上に置きます。
- 2 スタンドを外します。
- 3 プラスドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している4つのネジを外します。
- 4 壁取り付けキットのブラケットをモニターに取り付けます。
- 5 壁取り付けキットに付いている使用説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

 **注**：36.4 kg の最小重量 / 負荷支持強度を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットでのみ使用できます。

モニター の 操作

モニターを電源オンにする

🔘 ボタンを押してモニターをオンにします。








前面パネルのコントロールを使う

モニターの正面にあるボタンを使って、設定を調整してください。



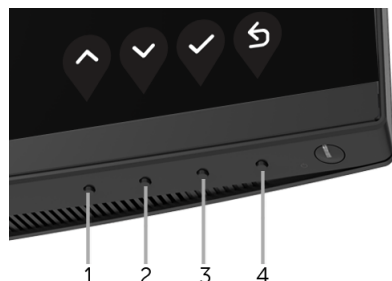
前面パネルのボタンについては、次の表にまとめてあります：



前面パネルボタン	説明
1  ショートカットキー/ プリセットモード	プリセット カラー モードのリストから選択する際には、このショートカットを選択してください。


2	 ショートカットキー/ 音量	このボタンで音量を調整します。最小は「0」(-) です。最大は「100」(+) です。
3	 メニュー	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) を開くには、メニューボタンを使います。 メニューシステムにアクセスする を参照してください。
4	 終了	このボタンは、OSD メインメニューを終了するときにも使用します。
5	 電源 (電源ライトインジケータ付き)	電源ボタンを使ってモニターの電源のオン / オフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンであることを示しています。濃い白いライトは、省電力モードに入っていることを示しています。

正面パネルボタン


モニターの正面にあるボタンを使って、画像設定を調整してください。



正面パネルボタン	説明
1  上	「上」ボタンを使って、OSD メニューのアイテムを調整できます（範囲を広げます）。
2  下	「下」ボタンを使って、OSD メニューのアイテムを調整できます（範囲を狭めます）。

3  「OK」 ボタンを使って、選択内容を確定します。


OK


4  「戻る」 ボタンを使って、前のメニューに戻ります。

戻る








オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセスする

 **注：**設定を変えてから別のメニューに進んだり OSD メニューを終了したりすると、モニターはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してから OSD メニューが消えるのを待っても、変更は保存されません。

- 1  ボタンを押して OSD メニューを起動し、メインメニューを表示します。

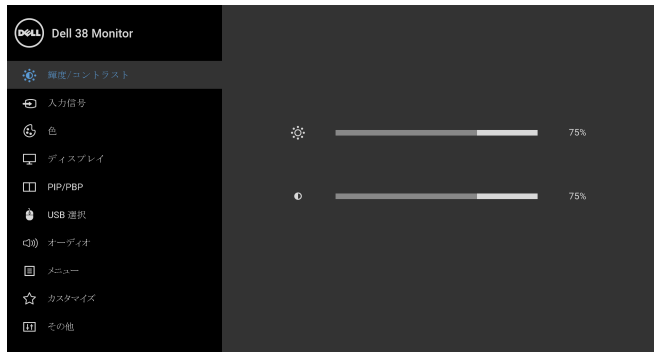


- 2  と  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
- 3  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
- 4  と  ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
- 5  を押してサブメニューに入り、メニューのインジケーターに基づき、矢印ボタンを使って変更します。
- 6  ボタンを選択してメインメニューに戻ります。



輝度/コントラスト

このメニューを使って輝度/コントラスト調整を有効にします。



輝度

輝度は、バックライトの輝度を調整します。

輝度を上げるには ボタンを押します。輝度を下げるには ボタンを押します（最小 0/ 最大 100）。

注：動的コントラストがオンになっているときには、手で輝度を調整することはできません。

コントラスト

まず輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。

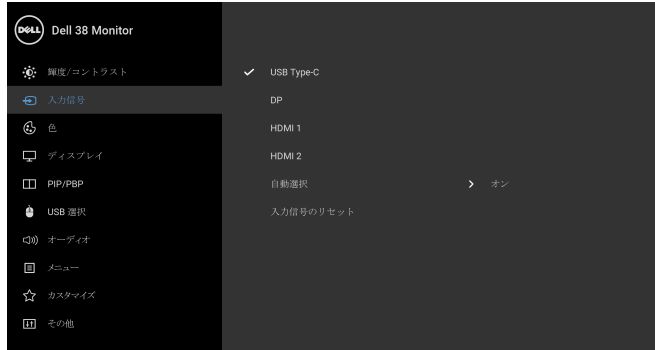
ボタンを押してコントラストを上げ、 ボタンを押してコントラストを下げます（最小 0/ 最大 100）。

コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。



入力信号

入力信号メニューを使って、モニターに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。



USB Type-C USB Type-C コネクタを使用しているとき、**USB Type-C** 入力を選択します。

DP DisplayPort (DP) コネクタを使用しているとき、**DP** 入力を選択します。

HDMI 1 HDMI 1 コネクタを使用しているとき、**HDMI 1** 入力を選択します。

HDMI 2 HDMI 2 コネクタを使用しているとき、**HDMI 2** 入力を選択します。

自動選択 これをオンにすると、仕様可能な入力信号をスキャンできます。

入力信号のリセット モニターの入力設定を工場出荷時の設定にリセットします。



色

色を使って色設定モードを調整します。





プリセット モード

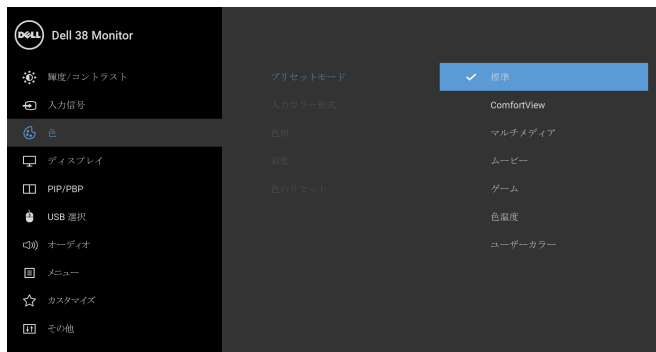
プリセットモードを選択すると、リストから**標準**、**ComfortView**、**マルチメディア**、**ムービー**、**ゲーム**、**色温度**、**ユーザーカラー**を選択できます。

- **標準**：モニターのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- **ComfortView**：スクリーンから放射されるブルーライトのレベルを軽減させ、スクリーンを見やすくします。

注：長期間モニターを使用することによる目の疲れ、首 / 手首 / 背中 / 肩の痛みを軽減するために、次のことをお勧めします：

- スクリーンと目の距離を 20 ~ 28 インチ (50 ~ 70 cm) 離してください。
- 瞬きをしたり、目薬などを使用して目のうるおいを保ってください。
- 2 時間おきに 20 分程度の休憩をとってください。
- 休憩ごとにモニターから目を離し、約 20 フィート先にある物を 20 秒以上見つめてください。
- 休憩中にストレッチをして首 / 手首 / 背中 / 肩の凝りをほぐしてください。
- **マルチメディア**：マルチメディア アプリケーションに適した色設定をロードします。
- **ムービー**：ムービーに適した色設定をロードします。
- **ゲーム**：ほとんどのゲーム アプリケーションに適した色設定をロードします。
- **色温度**：次の色温度を選択できます：5000K、5700K、6500K、7500K、9300K、10000K。

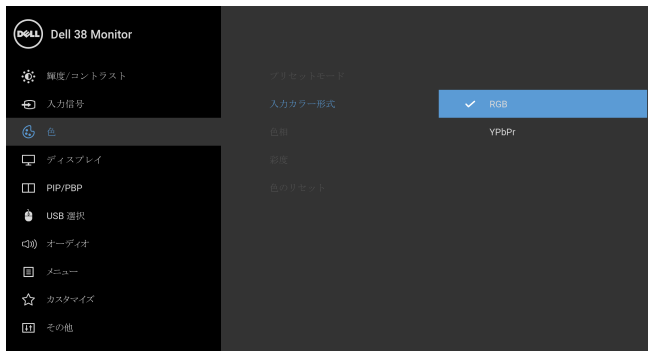
- **ユーザーカラー**：色設定を手動で調整します。 と  ボタンを押して 3 つの色 (R、G、B) 値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



入力カラー形式 ビデオ入力モードを次のように設定できます。

RGB : モニターが DP または HDMI または USB Type-C ケーブルを使用してコンピューターまたは DVD プレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。

YPbPr : DVD プレーヤーが YPbPr 出力しかサポートしていない場合は、このオプションを選択してください。



色相

この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色相は、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。▲

または ▼ を使って色合いを「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像の緑の影を増加します。

▼ を使ってビデオ画像の紫の影を増加します。

注 : 色相調整は、ムービーまたはゲームプリセットモードでのみ使用できます。

彩度

この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。▲ または ▼

を使って彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像の色鮮やかな外見を増加します。

▼ を使ってビデオ画像のモノクロの外見を増加します。

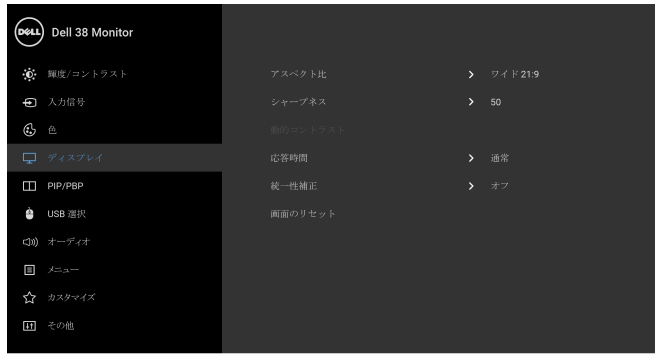
注 : 彩度調整は、ムービーまたはゲームモードでのみ使用できます。

色のリセット

モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。



ディスプレイ ディスプレイを使って画像を調整します。



アスペクト比 画像の比率はワイド 21:9、自動サイズ変更、4:3、1:1 に設定できません。

シャープネス この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。

または を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

動的コントラスト コントラストレベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。

ボタンを押して動的コントラストの「オン」または「オフ」を切り替えます。

注：動的コントラストはゲームまたはムービー プリセット モードを選択したときに高コントラストを実現します。

応答時間 応答時間を通常または高速に設定できます。

統一性補正 スクリーンの統一性補正の設定を選択します。調整済みは、デフォルトの工場出荷時に較正された設定です。統一性補正は中心に関して画面のさまざまな領域を調整し、画面全体の均一性輝度とカラーを達成します。画面を最適な状態にするために、統一性補正がオンになっているとき、一部のプリセットモード（標準、色温度）の輝度とコントラストが無効になります。

注：統一性補正がオンになっているとき、輝度を工場出荷時の初期設定に戻すようにお勧めします。他の輝度レベルに設定する場合、統一性補正の性能は出荷時較正レポートに示されたデータから外れることがあります。

画面のリセット このオプションを選択して、デフォルトのディスプレイ設定を復元します。



PIP/PBP

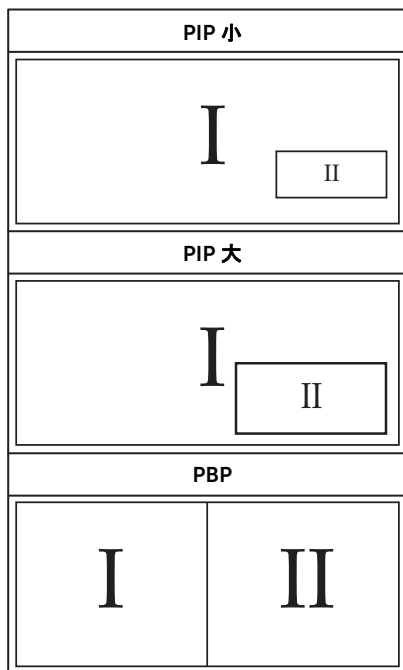
この機能は別の入力ソースから取り込んだ画像が表示されたウィンドウを映し出します。



メイン ウィンドウ	サブウィンドウ			
	USB Type-C	DP	HDMI 1	HDMI 2
USB Type-C	X	✓	✓	✓
DP	✓	X	✓	✓
HDMI 1	✓	✓	X	✓
HDMI 2	✓	✓	✓	X

注： PBP 下の画像は全画面ではなく、画面の中央に表示されます。

PIP/PBP モード PIP/PBP (Picture in Picture/Picture by Picture) モードを PIP 小、PIP 大、PBP に調整します。オフを選択すると、この機能が無効になります。



PIP/PBP (サブ) PIP/PBP サブウィンドウに用い、モニターに接続できる他のビデオ信号を選択します。

PIP の位置 PIP サブウィンドウの位置の選択。

↑ または ↓ を使うと参照できます。↖ を使うと、左上、右上、右下、左下の中から選択できます。

USB 選択切り換え PIP/PBP モードで USB アップストリーム ソースを切り換えます。

オーディオ メインウィンドウかサブウィンドウからオーディオ ソースを選択できます。

ビデオ入れ替え PIP/PBP モードのメイン画面とサブ画面のビデオを入れ替えます。

コントラスト (サブ) PIP/PBP モードで画像のコントラスト レベルを調整します。

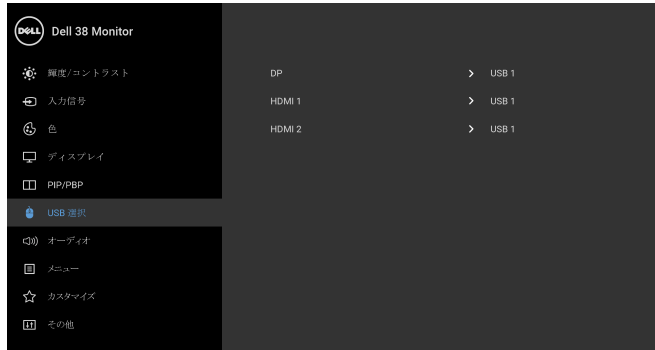
↑ ボタンを押してコントラストを上げ、↓ ボタンを押してコントラストを下げます。



USB 選択

入力信号用 USB アップストリーム ポート (DP、HDMI1、HDMI2) を設定することができるため、コンピューターをどちらかのアップストリーム ポートに繋いであるとき、モニターの USB ダウンストリーム ポート (キーボードやマウス) を現在の入力信号で使用することができます。詳細は、[KVM スイッチの設定](#) もご覧ください。

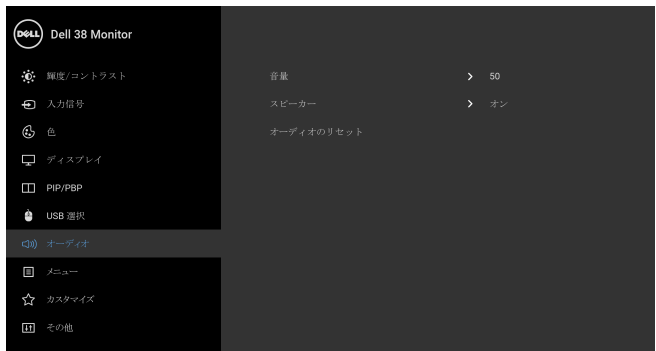
アップストリーム ポートが1つしかない場合は、接続されているアップストリーム ポートが有効になります。



注：データの破損や損失を防止するために、USB アップストリーム ポートを変更する前に、モニターの USB アップストリームポートに接続されているコンピューターが USB ストレージ デバイスを使用していないことを確認してください。



オーディオ



音量

スピーカーの音量を確認できます。

または を使って、音量レベルを「0」から「100」の範囲で調整します。

スピーカー スピーカーを有効または無効にします。

オーディオのリセット デフォルトの音設定に戻します。



メニュー このオプションを選択して、OSD の言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSD の設定を調整します。



言語 OSD ディスプレイを 8 つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）の 1 つに設定する**言語**オプション。

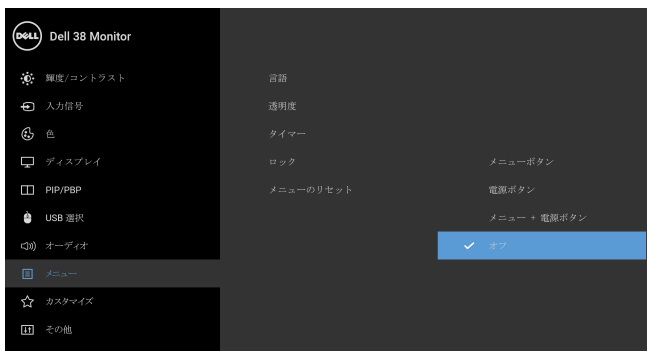
透明度 このオプションを選択し、最初 または 2 番目の ボタンを使ってメニュー透明化を変更します（最小：0 ～ 最大：100）。

タイマー **OSD 維持時間**：ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。

または を使ってスライダを 5 ～ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。

ロック

モニターの制御ボタンをロックすると、他の人は制御できなくなります。また、複数のモニターを横に並べたとき、誤って操作してしまうのを防止することもできます。



- **メニュー ボタン**：すべてのメニュー / 機能ボタン（電源ボタンを除く）がロックされ、ユーザーはアクセスできなくなります。
- **電源ボタン**：電源ボタンだけがロックされ、ユーザーはアクセスできなくなります。
- **メニュー + 電源ボタン**：メニュー / 機能ボタンと電源ボタンの両方がロックされ、ユーザーはアクセスできなくなります。

デフォルト設定は**オフ**です。

他のロック方法 [メニュー / 機能ボタン用]：電源ボタンの横にあるメニュー / 機能ボタンを 4 秒間押し続けても、ロックオプションを設定できます。

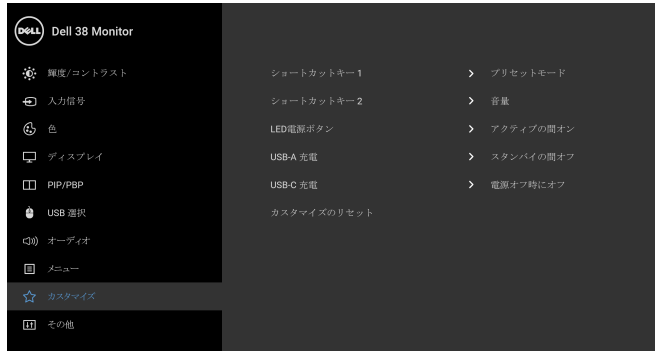
注：ボタンをロック解除するには、電源ボタンの横にあるメニュー / 機能ボタンを 4 秒間押し続けます。

メニューの リセット

すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



カスタマイズ



ショートカット キー 1

プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、音量、PIP/PBP モード、USB 選択切り換え、ビデオ入れ替えの中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定します。

ショートカット キー 2

LED 電源ボタン

節電のために、電源 LED インジケータのオン/オフを設定できます。

USB-A 充電

モニターがスタンバイモードのときに、USB Type-A (ダウンストリームポート) 充電機能を有効/無効にすることができます。

注：このオプションは、USB Type-C (アップストリームポート) ケーブルを外さなければご使用いただけません。USB Type-C ケーブルが接続された状態では USB-A 充電は USB ホストの電源状態に従うため、このオプションが有効になりません。

注：このオプションは、古いバージョンのファームウェアで USB と呼ばれていたものです。

USB-C 充電

モニターが電源オフモードのとき、USB Type-C 充電を常にオン機能を有効/無効にできます。

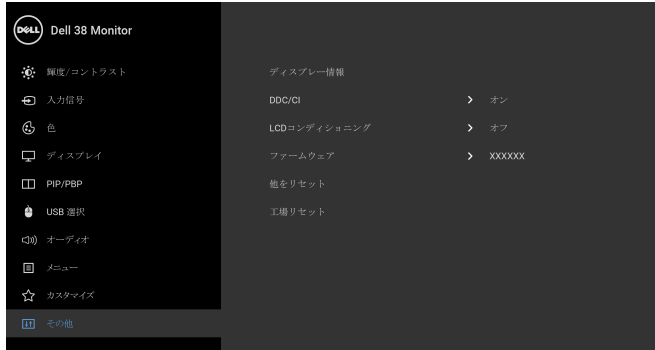
注：このオプションは、モニターのファームウェアバージョンが比較的新しいものをご使用いただけます。

カスタマイズの リセット

カスタマイズメニューですべての設定を初期値に戻します。

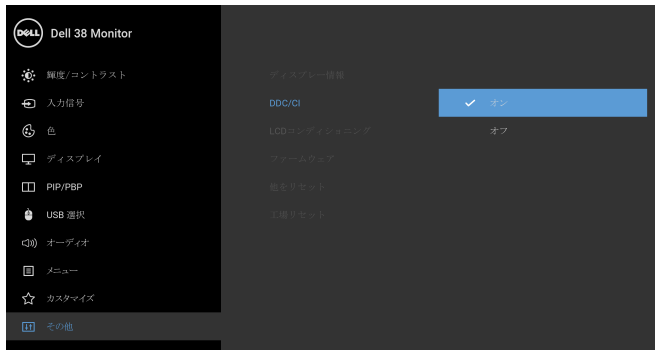


その他



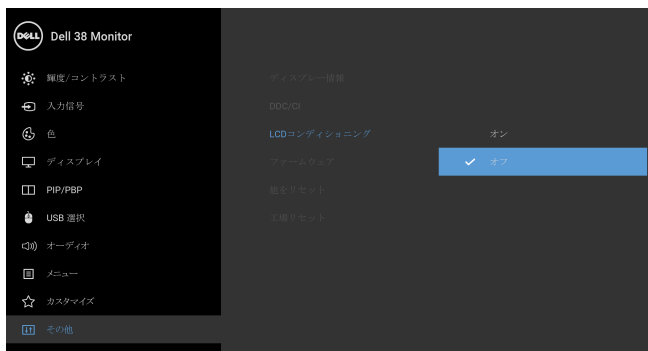
ディスプレイ情報 モニターの現在の設定が表示されます。

DDC/CI DDC/CI（ディスプレイ データチャンネル / コマンド インターフェイス）により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター（輝度、色バランスなど）を調整します。
オフを選択すると、この機能が無効になります。
ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。



LCD コンディショニング

画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。**オン**を選択することで、この機能を有効にできます。



ファームウェア モニターのファームウェアバージョンを表示します。

他をリセット その他メニューですべての設定を初期値に戻します。

工場リセット すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



注：このモニターには自動的に輝度を調整してLEDの老朽化を補正する機能が内蔵されています。


OSD 警告メッセージ

動的コントラスト機能が有効に設定されている場合は（ゲームまたはムービーなどのプリセットモード）、手動輝度調整は無効になります。



モニターが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます：



 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。


これは、モニターがコンピューターから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、3840 x 1600 画素です。

DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます：



ロック機能が有効になる前に、次のメッセージが表示されます：




 **注：**接続した設定によっては、メッセージが多少異なる場合があります。

モニターが**省電力モード**に入ると、次のメッセージが表示されます：




コンピューターを有効にして、モニターを立ち上げ、**OSD**にアクセスします。

 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。


電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます：



 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

USB Type-C、HDMI または DP 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



 **注：**接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

工場リセットを選択すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。



はいを選択すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定するには：

Windows[®] 7、Windows[®] 8、および Windows[®] 8.1：

- 1 Windows[®] 8 および Windows[®] 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップで右クリック、**画面の解像度**をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**3840 x 1600** を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

Windows[®] 10：

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**3840 x 1600** を選択します。
- 4 **適用**をクリックします。

オプションとして 3840 x 1600 がない場合は、グラフィックドライバを更新する必要があります。コンピューターによっては、以下の手順のいずれかを完了してください：

Dell デスクトップまたはポータブル コンピューターをご使用の場合：

- <http://www.dell.com/support> に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。

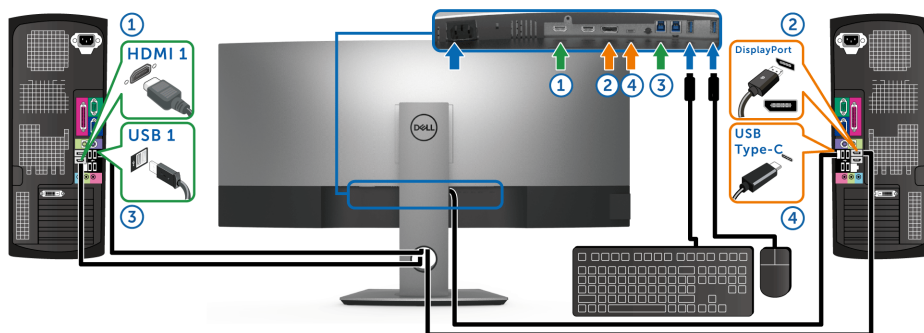
Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- コンピューターのサポート サイトにアクセスして、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス カード ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。

KVM スイッチの設定

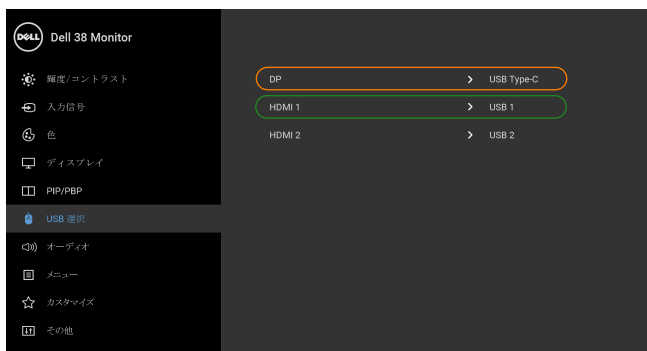
内蔵された KVM スイッチは、モニターに接続されたキーボードとマウスを 1 組のセットとして最大で 2 台のコンピューターを制御することができます。

- a HDMI 1 + USB 1 をコンピューター 1 に、DP + USB Type-C をコンピューター 2 に接続する場合：

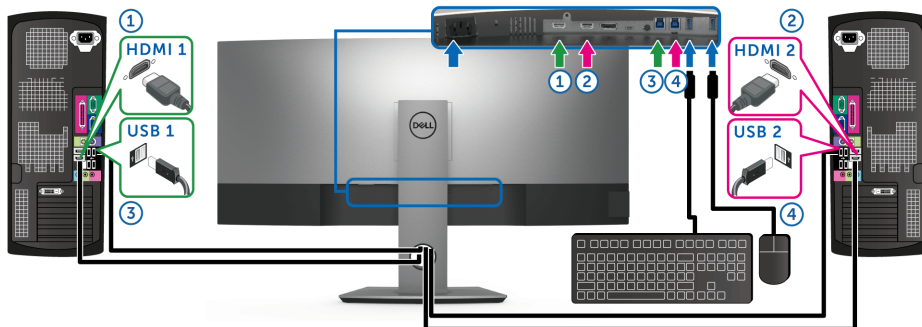


注：現時点では、USB Type-C 接続はデータ転送にしか対応しておりません。

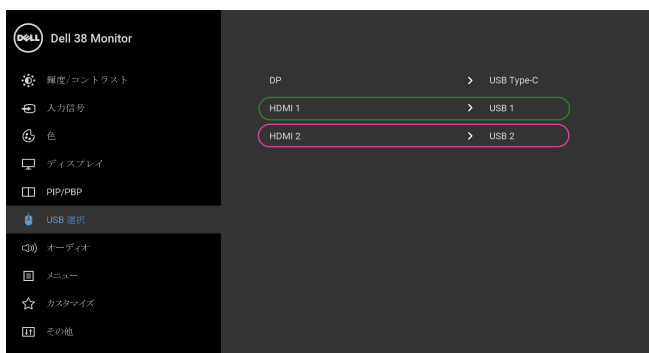
HDMI 1 の USB 選択が USB 1 に設定してあり、DP が USB Type-C に設定されていることを確認してください。



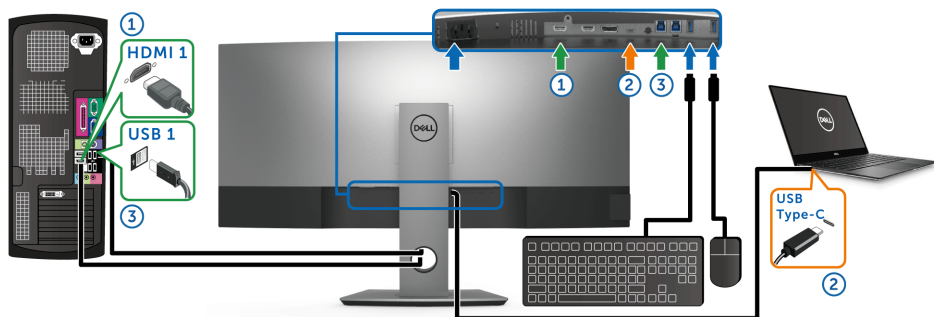
- b HDMI 1 + USB 1 をコンピューター 1 に、HDMI 2 + USB 2 をコンピューター 2 に接続する場合：



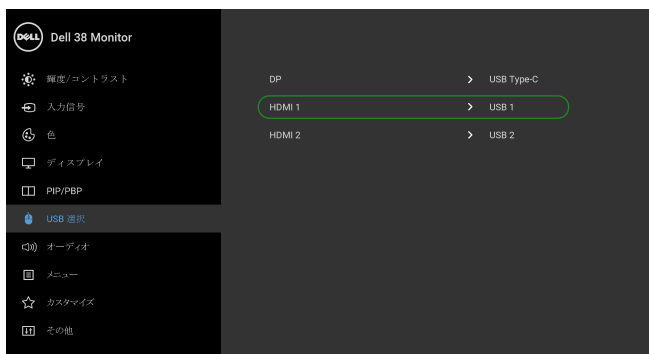
HDMI 1 の USB 選択が USB 1 に設定しており、HDMI 2 が USB 2 に設定されていることを確認してください。



- c HDMI 1 + USB 1 をコンピューター 1 に、USB Type-C をコンピューター 2 に接続する場合：




- 注：**現時点では、USB Type-C 接続は映像およびデータ転送に対応しております。
HDMI 1 の USB 選択が USB 1 に設定してあることを確認してください。



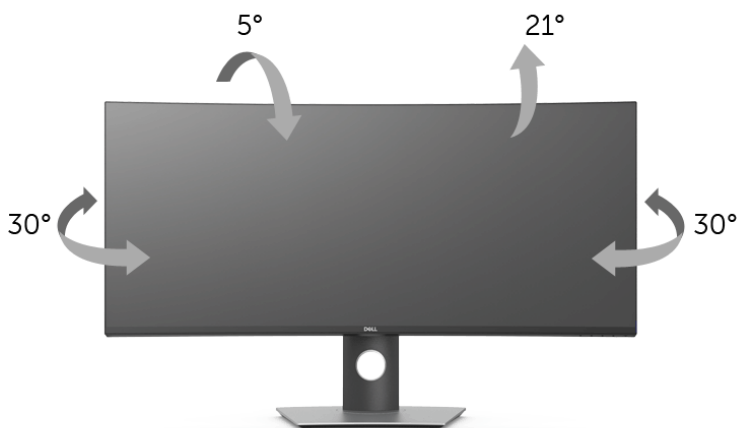
- 注：**USB Type-C ポートは DisplayPort 代替モードに対応しているため、USB Type-C の USB 選択を設定する必要はありません。
- 注：**上記以外のビデオ入力源を接続する場合は、手順にしたがって USB 選択がポートとペアリングされるように正しく設定してください。


傾け、回転させ、垂直に伸ばす

 注：これはスタンド付モニターに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンドセットアップガイドをご参照ください。


傾き、回転

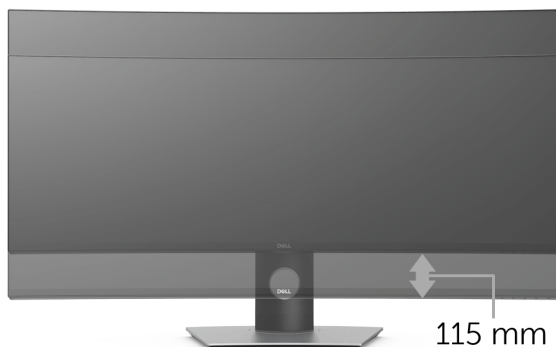
モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させたり、向きを変えたりすることができます。



 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドは外された状態になっています。

垂直に伸ばす

 注：スタンドは、垂直に最大 115 mm 伸ばせます。下の図で、伸ばし方を示します。



問題を解決する

⚠ 警告： このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。

自己テスト

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピューターが適切に接続されていて、モニター スクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- 1 コンピューターとモニター両方の電源をオフにする。
- 2 コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外す。
- 3 モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが（黒い背景に）表示されます。自己テストモードでは、電源 LED が白になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。




✎ 注： 接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

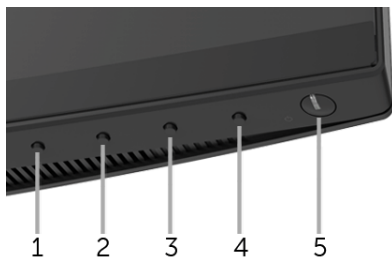
- 4 ビデオ ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
- 5 モニターの電源をオフにして、ビデオ ケーブルを再接続し、次にコンピューターとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ コントローラーおよびコンピューターをチェックしてください。

内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピューターやビデオカードに固有の問題かを判断します。

 **注：**内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。



内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います：

- 1 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
- 2 コンピューターの後ろからビデオケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。
- 3 フロントパネルの**ボタン1**を5秒間押し続けます。グレイの画面が表示されます。
- 4 画面に異常がないか、慎重に検査します。
- 5 正面パネルの**ボタン1**を再び押します。画面の色が赤に変わります。
- 6 ディスプレイに異常がないか、検査します。
- 7 ステップ5と6を繰り返して、緑、青、黒、白い画面、およびテキスト画面についてもディスプレイを検査します。

テキスト画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、**ボタン1**を再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオカードとコンピューターをチェックしてください。

USB Type-C 充電を常にオン

本製品は電源が切れているときにも、USB Type-C ケーブルを使用してノートブックやモバイルデバイスを充電することができます。詳細は、[USB-C 充電](#)を参照してください。この機能は、モニターのファームウェアが M3B106 以上でご使用いただけます。

現在のファームウェアバージョンは、[ファームウェア](#)で確認できます。これをご利用いただけない場合は、Dell ダウンロード サポートサイト (www.dell.com/U3818DW) から最新のアプリケーション インストーラ (**Monitor Firmware Update Utility.exe**) をダウンロードして、ファームウェアアップデートユーザーズ ガイドにしたがって更新してください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます：

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターにモニターを接続しているビデオ ケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。• 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。• 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
ビデオなし / 電源 LED オン	画像なし、または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">• OSD によって、輝度とコントラストコントロールを増加します。• モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。• ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。• 内蔵診断を実行します。• 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている	<ul style="list-style-type: none">• ビデオ拡張ケーブルを外します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
ビデオが揺れたり / ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• 環境係数をチェックします。• モニターの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCD スクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none">• サイクル電源オン - オフ。• 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。• Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
ドット落ち	LCD スクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none">• サイクル電源オン - オフ。• 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。• Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
輝度の問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします。• OSD によって、輝度とコントラストコントロールを調整します。

幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● OSD を使用して水平方向と垂直方向のコントロールを調整する。
水平 / 垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ● 内蔵診断を実行します。
同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ● セーフモードでコンピューターを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> ● トラブルシューティング手順を実行しないでください。 ● 直ちに Dell にご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ● モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。
色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> ● モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 ● コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ● ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションによって、「色」メニュー OSD の「プリセットモード」の設定を変更します。 ● 「色」メニュー OSD の「ユーザーカラー」で R/G/B 値を調整してください。 ● 「色」メニュー OSD で、「入力カラー形式」を PC RGB または YPbPr に変更します。 ● 内蔵診断を実行します。
長時間モニターに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください（詳細については、電源管理モードを参照してください）。 ● または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none">● 「ディスプレイ」メニュー OSD で、「アスペクト比」設定を確認します。● モニターを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSD がスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none">● モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。● OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合は、電源ボタンの横にあるメニュー / 機能ボタンを 4 秒間押し続けるとロック解除できます（詳細は、ロックを参照してください）。
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LED が白く点灯	<ul style="list-style-type: none">● 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピューターが省電力モードに入っていないことを確認します。● 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。● コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない	<ul style="list-style-type: none">● DVD の異なるビデオ形式により、モニターが全画面で表示できないことがあります。● 内蔵診断を実行します。

ユニバーサル シリアル バス (USB) 特有の問題


特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
USB インターフェースが作動していない	USB 周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none">● モニターの電源がオンになっているかを確認します。● アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。● USB 周辺機器（ダウストリーム コネクタ）を再接続します。● 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。● コンピューターを再起動します。● 外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューターシステムに直接接続してください。● 2 台のアップストリーム接続を使用しているときには、1 つのアップストリーム USB ケーブルは外しておいてください。

USB Type-C ポートは電源を供給しません	USB 周辺機器を充電することができません	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続したデバイスが USB-C 仕様に準拠しているか確認してください。USB Type-C ポートは、最大 10 Gbps と 95 W 出力の USB 3.1 に対応しています。 ● 必ずモニター付属の USB Type-C ケーブルをお使いください。
超高速 USB 3.0 インターフェースが遅い	超高速 USB 3.0 周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターが USB 3.0 対応かどうかをチェックします。 ● コンピューターの中には、USB 3.0、USB 2.0 と USB 1.1 ポートの両方を搭載しているものもあります。正しい USB ポートを使用されていることを確認してください。 ● アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。 ● USB 周辺機器（ダウンストリーム コネクタ）を再接続します。 ● コンピューターを再起動します。
ワイヤレス マウスが作動しない、または反応が遅い	まったく反応しない、または反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ● USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあげます。 ● ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス マウスの距離をできるだけ短くしてください。 ● USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.0 ポートから遠ざけてください。

スピーカー特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スピーカーから音が出ない	音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターの電源を切り、一旦モニターの電源コードを抜いてからもう一度差し込んでください。その後で、再びモニターをオンにします。 ● オーディオ ケーブルが正しくコンピューター オーディオ出力ポートに接続されているか確認してください。 ● オーディオ出力ポートからオーディオケーブルを外します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします。

警告：安全指示

 **警告：** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。


安全についての説明は、安全、環境および規制情報 (SERI) をご覧ください。

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

 **注：** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、または Dell 製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dell では、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。

- オンライン テクニカルアシスタンス — www.dell.com/support/monitors
- Dell へのお問い合わせ — www.dell.com/contactdell